

BCCWJ と LINE における 文末の三点リーダーと感嘆符「...！」の使用実態

浦 温美 (筑波大学大学院 人文社会科学研究群)

The End-of-Sentence Usage of Ellipses and Exclamation Marks '...!' in BCCWJ and LINE

Atsumi Ura (Degree Programs in Humanities and Social Sciences, University of Tsukuba)

要旨

本発表では、文末の三点リーダーと感嘆符の組み合わせが BCCWJ と LINE のチャットデータでそれぞれどのように示されているのかを明らかにすることを目的とする。三点リーダーは「...」「・・・」と表記されるだけでなく、読点や句点を用いて表記される場合があり、点の数もさまざまである。感嘆符についても使用数が決まっているわけではないため、多様な三点リーダーと感嘆符の組み合わせが観察される。そこで、本発表では、このような三点リーダーと感嘆符の組み合わせの実態を明らかにするため、BCCWJ と自身で収集した LINE のチャットデータを用いて分析を行った。その結果、BCCWJ では三点リーダー、中点、読点、句点を使用したものが確認された。レジスターに注目すると、三点リーダーを使用したものは「書籍」のみに、その他は「ブログ」と「知恵袋」のみに現れた。LINE のチャットデータでは三点リーダーと読点を使用したものが確認された。また、LINE のチャットでは、BCCWJ と比較して読点が多く用いられていることが分かった。

1. はじめに

現在、日常的に使用されている CMC (Computer Mediated Communication) では、書き手の意図を伝えるための補助的な要素として、符号や記号、絵文字などが使われる。その中の 1 つに三点リーダーがあり、これは「無言、間、余韻」などのさまざまな意味を持つ符号である。三点リーダーはその他の符号や記号と組み合わせて、多様な表現がなされる。本稿では感嘆符との組み合わせに注目する。森山 (2013) においては、三点リーダーが拍の進行を遅らせる記号として、感嘆符が拍の進行を早める記号としてはたらくという調査結果が示されている。このように音声的に相反するという点から関心を持った。三点リーダーと感嘆符の種類と使用量は恣意的で定まっておらず、多様な形式で用いられていると予想される。そこで本稿では、三点リーダーと感嘆符の組み合わせが BCCWJ と LINE でどのように用いられているか、実態を明らかにすることを目的とする。

第 2 節で三点リーダーと感嘆符にかんする先行研究をまとめ、第 3 節で研究目的、第 4 節で調査方法とデータについて説明する。第 5 節で BCCWJ と LINE のデータの分析結果を示す。第 6 節はまとめである。

2. 先行研究

はじめに『句読点、記号・符号活用辞典。』における、三点リーダーと感嘆符についての記述から、2 つの符号の意味や用法を確認する。

三点リーダー

- ・会話文や一人称的な表白で、発言・思考の中断、言いよどみ、無言などを表す。

- ・文末に置いて余韻や含みをもたせる。
- ・以下同様に続くことや、そこに挙げたものにとどまらないことを表す。
- ・省略した箇所、また、欠文・判読不能などの箇所を示す。

(pp.64-66)

感嘆符

- ・声を高めて発せられたことを表す。
- ・感動・詠嘆・興奮・驚き・怒り・焦燥・断定など、書き手や作中人物の感情・思い入れを強調する。
- ・音響、早い動き、動揺などを表す擬声語・擬態語に付けて、音や動きを強調する。
- ・広告・宣伝文、標語、新聞・雑誌の見出しなどで、その事柄を強く押しだし、強調する。

(pp.32-35)

その他、辞典等では「中断、言いさし、無言、余韻、沈黙、省略」などの語を用いて三点リーダーを説明していた（教育出版編集局、2017；文部省、1946；渡辺 他、1993）。

小説の三点リーダーは、ダッシュとの比較を通して分析されている。山木（1962）は三点リーダーが消極的な間を表現するとし、安井（2006）は「言いよどみ」「間隙」「無言」の用法があると述べている。

CMCの三点リーダーについて、鈴木・津田（2007）は、複数のIT系企業における質問応答型のユーザサポート用掲示板の文から、インターネット上のコミュニケーションで用いられる三点リーダーが示す感情を「文末を省略せずに余韻を残すもの」「文末を省略して相手に自分の感情を推測させるもの」「感情を表すというより、拒絶や助言などの、相手にとって受け入れることに少なからず抵抗が生ずるような行動を表すもの」の3つに分類している。また、清（2022）はTwitterデータとBCCWJの三点リーダーの比較から、その用法を符号的用法と、記号的用法に分けたうえで、従来挙げられる三点リーダーの意味の「言いさし、余韻、含み」とは別に、打ちことばに特徴的な意味として、「文末において、その直後の記号による感情表現を強調、または緩衝する役割」を挙げている。

三点リーダーと感嘆符に限らずLINEの符号や記号について記述されたものとして、加納 他（2017）や稗田（2022）がある。符号、記号の使用には個人差があるものの、感嘆符が「句点」のように文末マーカーとして用いられていることが示唆されている。

3. 目的と用語の定義

本発表では、以下の2点を研究課題として設定した。

- 1) 三点リーダーと感嘆符を組み合わせた使用には、どのような形式があるのか
- 2) 三点リーダーと感嘆符を組み合わせた使用には、レジスター別の違いがあるのか

以下では、この2つの研究課題について、分析を行い、その結果をまとめていく。

次に、本稿における用語の設定を行う。本稿では「…」を三点リーダー、「・」を中点、「。」を句点、「、」を読点とそれぞれ呼称する。

上述したように、三点リーダーと感嘆符の種類と使用量は恣意的で定まっていない。そこで、本稿では、三点リーダーと感嘆符、三点リーダーのように使用したその他の符号と感嘆符の組み合わせを全て代表して<…!>で示す。また、各組み合わせについて述べる場合、使用数の多寡にかかわらずそれぞれ【…!】【・・!】【。!】【、!】で示すこととする。

なお、三点リーダーについては1回以上の使用を、中点・句点・読点については2回以上の使用を三点リーダー的使用として設定した。また、感嘆符については1回以上の出現をカ

ウントした。

4. 使用するデータ

BCCWJの検索アプリケーション「中納言」(Ver. 2.7.2)を用いて、「...！」¹「・・・！」
「。。！」、「、！」²を検索する。三点リーダー以外の符号(中点・読点・句点)は『句読点、
記号・符号活用辞典』で、続けて打つことで三点リーダーの代用とされると記述されてい
たため今回の調査対象とした。

検索結果から文末以外で使用されているものをフィルタリングして取り除いた。〈...!〉
の単独使用ではないこと、後文脈が#、「、『で始まること、(で始まる場合それが顔文字や
「笑」のような漢字ではないことを条件にフィルタリングを行った。表1にBCCWJでの
検索結果とフィルタリング後の本稿で分析対象とする用例数をまとめる。

表1 BCCWJの検索結果と本稿での分析対象

	【...!】	【・・・!】	【。。!】	【、!】
検索結果	1,234	589	32	9
分析対象	950	478	22	7

次に、LINEのチャットデータの概要について説明する。

LINEのチャットデータは女子大学に在籍する大学生から、三点リーダー、もしくは三点
リーダーのように使われている符号と感嘆符を1つの吹き出し内で連続して使用している
ものを対象に収集した。中点、句点、読点については2点以上であることを条件とした。ま
た、感嘆符が1つ以上であること、符号単体で使用されていないこと、文末で使用されてい
ること(感嘆符の後ろに疑問符や絵文字、顔文字が続かないこと)を条件とする。収集でき
たデータは三点リーダーと読点を使用したものである。対象とする表現の使用者は主に10
代もしくは20代の女性である。また、本稿では三点リーダーと感嘆符の組み合わせのバリ
エーションを見ることを目的としているため、1つの吹き出し内で対象表現が2回以上お使
用されている場合、2件と数えた。本研究で使用する用例数の合計は100件で、三点リーダ
ーと感嘆符の組み合わせの使用者の異なり人数は37人である。

¹ 「...!」の検索条件式

キー: 書字形出現形="..."

AND 後方共起: 書字形出現形="!" ON 1 WORDS FROM キー DISPLAY WITH KEY
WITH OPTIONS tglKugiri="" AND tglBunKugiri="#" AND limitToSelfSentence="1" AND
tglFixVariable="2" AND tglWords="500" AND unit="1" AND encoding="UTF-16LE" AND
endOfLine="CRLF";

中納言 2.7.2 データバージョン 2021.03 (検索日 2024/07/23)

² 「。。!」「、!」「・・・!」の検索条件式(キーと後方共起の語彙素「。」を「、」「・」に
置き換える。)

キー: 語彙素="。"

AND 後方共起: 語彙素="。" ON 1 WORDS FROM キー DISPLAY WITH KEY
AND 後方共起: 語彙素="!" ON 2 WORDS FROM キー DISPLAY WITH KEY
WITH OPTIONS tglKugiri="" AND tglBunKugiri="#" AND limitToSelfSentence="1" AND
tglFixVariable="2" AND tglWords="500" AND unit="1" AND encoding="UTF-16LE" AND
endOfLine="CRLF"

中納言 2.7.2 データバージョン 2021.03 (検索日 2024/07/23)

5. 結果

5. 1 BCCWJにおける〈…!〉の使用

BCCWJの検索結果をレジスターごとに確認する。レジスターの「書籍」は「出版・書籍」「図書館・書籍」「特定目的・ベストセラー」をまとめたものである。表2に出現数とレジスター内に占める割合を示す。

表2 〈…!〉出現数とレジスター内の割合

レジスター	【…!】	【…!】	【。!】	【、!】
雑誌	19 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
書籍	741 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
ブログ	178 (31%)	377 (66%)	17 (3%)	3 (0%)
知恵袋	12 (10%)	101 (83%)	5 (4%)	4 (3%)
計	950	478	22	7

表2から中点、句点、読点を使用したものはブログと知恵袋のみに出現していることが分かる。第4項に上述のとおり、中点、句点、読点を続けて打ったものは三点リーダーの代用であり、これらは電子メールや電子掲示板、ワープロ原稿などで使用されると記述されている(小学館辞典編集部、2007)。句点、読点の出現数は少ないものの、ブログと知恵袋で最も多く使用されているのは【…!】であり、この記述と合致している。

表3～表6に、BCCWJにおける〈…!〉のバリエーションを示す。

表3 BCCWJにおける【…!】のバリエーション

バリエーション	出現数	割合 (%)
…!	798	84
…!!	90	9
…!!!	13	1
…!!!!	18	2
…!!!!!!	5	1
…!!!!!!!!	2	0
…!!!!!!!!!!!!	2	0
……!	10	1
……!!	3	0
……!!!	2	0
……!!!!	2	0
……!	1	0
……!!	1	0
……!!!	1	0
……!!	1	0
……!!!	1	0
計	950	100

表4 BCCWJにおける【…!】のバリエーション

バリエーション	出現数	割合 (%)
…!	66	14

..... !!!!!	1	5
..... !	1	5
計	22	100

表 6 BCCWJ における【、！】のバリエーション

バリエーション	出現数	割合 (%)
、、！！	2	29
、、、！	2	29
、、、！！	2	29
、、、、！！	1	14
計	7	100

【...！】は出現したものの約 8 割が「...！」と三点リーダー1つと感嘆符 1 つの組合せであった。それに対して、【・・・！】は最も出現した「・・・！」が約 4 割であり、【...！】と比べて非常に多様な組み合わせで用いられている。これは、【・・・！】が使用されたレジスターがブログや知恵袋であることが影響していると考えられる。【。！】と【、！】の出現は少なかったが、【・・・！】と同様に、「三点」打つという意識はありつつも、書き手の自由な組み合わせによる多様なバリエーションが見られた。

5. 2 LINE における〈...！〉の使用

LINE のチャットデータにおける〈...！〉のバリエーションを表 7 に示す。

表 7 LINE における〈...！〉のバリエーション

対象表現	用例数	対象表現	用例数
...！	50	、、！	13
...！！	14	、、！！	3
...！！！！	3	、、、！	5
...！！！！	1	、、、！！！！	1
.....！	4	、、、、！	1
.....！！	2	、、、、、、！	1
.....！！！！	1	、、、、、、、、！	1
総計		100	

三点リーダー1つと感嘆符 1 つの組み合わせが最も多く、半数を占めていた。

「...」「!」「,」をそれぞれ 1 文字として、これらの表現を文字数から見ると「...！」の 2 文字が最も使用され、文字数が多くなるにしたがって用例数が減っていることが分かる。

【、！】について、今回は読点が 1 つの場合を調査の対象としていないが、文字数の観点では読点 1 つと感嘆符を組み合わせで使用することが予想される。また、三点リーダーは 1 文字で 3 点があるのに対し、読点は 1 文字 1 点であり、視覚的にスペースを取るため、読点 2 つが多く用いられているのではないかと考えられる。

6. おわりに

本稿では BCCWJ と LINE における〈...！〉の使用について調査を行った。BCCWJ では【...！】【・・・！】【。！】【、！】の形式が確認でき、レジスターによって、使用に違い

があることが分かった。また、LINEについては、【…!】と【、!】の使用のみが確認できた。また、文字数によって使われやすさが異なることが予想された。BCCWJにおける知恵袋やブログは打ちことばではあるものの、LINEとは異なる使用であった。今後は「打ちことば」に含まれるメールやLINE、ブログ、SNSなどの中で、符号や記号の使用にどのような差があるかを明らかにすることを課題としたい。

文 献

- 加納なおみ・佐々木泰子・楊虹・船戸はるな (2017) 「打ち言葉」における句点の役割—日本人大学生のLINEメッセージを巡る一考察—『人文科学研究』13、pp.27-40
- 小学館辞典編集部 (2007) 『句読点、記号・符号活用辞典。』小学館
- 鈴木信雄、津田和彦 (2007) 「三点リーダ文の感情推定手法」『第69 全国大会講演論文集』pp.71-72、情報処理学会
- 清千夏 (2022) 「打ちことばにおける三点リーダの役割 —Twitter と現代書き言葉均衡コーパスを比較して—」『語文』173 巻、pp.80-61、日本大学国文学会
- 稗田奈津江 (2022) 「SNS を用いた勧誘談話における「形式面」の特徴—日本語母語話者とマレー語母語話者の比較—」『社会言語科学』24-2、pp.83-90
- 森山卓郎 (2013) 「句読点、補助符号とその表現効果」『日本語学』32-5、pp.132-143、明治書院
- 文部省 (1946) 「くぎり符号の使ひ方〔句読法〕(案)」
https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/hokoku/pdf/93651301_01.pdf (2023 年 12 月 1 日最終アクセス)
- 安井寿枝 (2006) 『『細雪』の表現：発話文に見られる「-」(ダッシュ) と「……」(リーダー) の用法』『甲南大學紀要.文学編』143、pp.49-69、甲南大学
- 山木幹人 (1962) 「文章上の符号 「—」と「……」の特征的な性格」『言語生活』133、pp.69-77、筑摩書房
- 渡辺富美雄、村石昭三、加部佐助 (1993) 『日本語解釈活用事典』ぎょうせい

関連 URL

コーパス検索アプリケーション『中納言』(Ver. 2.7.2) <https://chunagon.ninjal.ac.jp/>